

第50回 久慈地方産業まつり 連携を深めいざ出陣！

1 / 来場者先着100人に野菜をプレゼント 2 / 舞の海さんが鱒ヶ沢町のちゃんこ鍋のお振る舞いを一人一人手渡し 3 / 笑顔であふれた舞の海さんと藤織ジュンさんのトークショー 4 / 鱒ヶ沢高等学校と久慈高等学校の生徒と一緒に取り組んだハンバーグ入り力士くんおやき 5 / プログラミング体験を楽しむ来場者 6 / 久慈地方技能士会が、ものづくり体験教室を開催 7 / 大好きなバスに乗って運転手さんの気分を体験 8 / スケールに小物をのせて100gに挑戦 9 / 連携都市のご当地グルメを買い求める来場者 10 / 一緒に訪れた友人と記念撮影



テープカットを行う青森県黒石市長、弘前市長、鱒ヶ沢町長、久慈市長、秋田県横手市長、久慈市議会議長（左から）

翌日は悪天候が予測されたことから残念ながら、この日の開催となりましたが、たくさんの人が笑顔で産業まつりを楽しみました。

久慈の魅力や笑顔であふれる会場の様子が楽しく紹介され、特設放送のブース前には、目と耳でラジオを楽しむ人でにぎわいました。

鱒ヶ沢町出身の元力士、舞の海秀平さんのトークショーも開催。司会の移住コーディネーター藤織ジュンさんと、新弟子検査時のエピソードや、やんちゃだった小さい頃の思い出話など、軽快なトークで会場を沸かせました。

IBC公開生放送では、いわて山形村短角牛のペゴ汁、鱒ヶ沢町のちゃんこ鍋のお振る舞いでは、「おいしい」と頬を緩ませました。

NKK連続テレビ小説の舞台地で結ばれたロケ地連携都市の福島市、気仙沼市のブースには、地酒や果物などが並び、来場者は会話を楽しみながら商品を選んでいました。

会場は市内の事業者などが自慢の商品を持ちより出店。展示や体験コーナーを実施しました。農林水産物や地産地消料理の販売では、商品を買求める人で、長い行列ができました。

遠藤市長は「今日の日を迎えることができ、うれしく思う。歴史文化でつながる連携都市の4市町、ロケ地連携の2市からの出店もいただいている。秋のひとときを、ゆっくり楽しんでいただきたい」と、3年振りにコロナ前の規模で開催された産業まつりへの思いを語りました。

記念大会となったオープニングセレモニーでは、令和2年10月に、歴史文化で結ぶ都市間連携で交流を深めている、平田衛、鱒ヶ沢町長、高樋憲、黒石市長、櫻田宏弘前市長、高橋大横手市長が駆け付け、テープカットを行いました。

久慈市長は「今日の日を迎えることができ、うれしく思う。歴史文化でつながる連携都市の4市町、ロケ地連携の2市からの出店もいただいている。秋のひとときを、ゆっくり楽しんでいただきたい」と、3年振りにコロナ前の規模で開催された産業まつりへの思いを語りました。